

黒岩知事と商工会長等との懇談会

葉山町商工会長、HAYAMA STATIONの活動を発表

7月26日、HOTEL PLUM (横浜市)で黒岩知事と商工会長等との懇談会が行われました。

冒頭、関戸会長は、一連のコロナ対策に対する知事の支援に感謝を受け、コロナ禍の中、お越しいただき、ありがとうございました。謝を述べられました。



挨拶する関戸会長



挨拶する黒岩知事

黒岩知事は挨拶で、この日が5年前のやまゆりの事件同日であったため、関戸会長の地元である津久井へ行ってきた事と商工会の皆さんの顔をみたいと対面での会議を希望され、開催に至ったことを話されました。また、新型コロナウイルス感染症に言及され、「第5波は第3波を上回るのではないか」という非常に厳しい状況

中止の事にふれ、「マスク飲食実施店」認証制度についてや、まん延防止等重点措置や神奈川県緊急事態宣言が解消された後、患者が減ってきたときには、マスク飲食実施店の認証を得ている店舗には除外規定という形でインセンティブを設けたいとの考えを話されました。

い状況です。以前より更に厳しい状況となった神奈川県の実情を示されました。そして、飲食店への酒類提供の

AYAMA STATION)の実績について「葉山町商工会柳会長が、葉山町商工会の基本理念と基本姿勢を地域を元気にする2本柱として掲げていること、オープン当時に知事からエールをいただいたこと、地域に愛される店舗を目指す為に1年間を説明し、令和3年9月にオープンから5年目を迎えるにあたり、弁護士・税理士・中小企業診断士・県連・行政をメンバーにした専門委員会(第三者委員会)を昨年立ち上げ、今後の5年間をどうするか検討していることなど、5年目以降の展開についてより良いものにしていく意気込みを話されました。

県青年部連合会は、若手経営者・後継者としての資質の向上、青年部活動の活性化を目的に、7月16日(金)綾瀬市商工会館で第34回主張大会を開催しました。

青年部活動は果てしないゴールへの一歩

県青連主張大会 優勝は武田匡央(綾瀬市)さん



山本県青連会長(左)と、優勝した武田匡央さん(綾瀬市)

2年ぶりの開催となりました。消毒や入場制限など感染防止対策を行い、来場できない青年部員のため、YouTube配信を併用するなど、コロナ禍における主張大会を行いました。

県内各地区の予選を勝ち抜いた9名の代表者が発表を行い、武田匡央さん(綾瀬市商工会青年部)が優勝を勝ち取りました。

武田さんは、青年部活動が世界を変え的一步というテーマで、青年部が主催するイベントの実行委員長を担当したことで、青年部員のチームを作り、様々な苦難を乗り越え地域活性化を成し遂げたこと、また、青年部活動を行う過程で自社の社員への仕事の任せ方を学び、業績向上に結び付いたことを発表しました。

優勝した武田さんは、県代表として9月15日(水)に静岡県で開催される関東ブロック大会に出場します。

また、今年度青年部全国大会に係る顕彰候補者について「まちづくり部門」から伊勢原市商工会青年部を県代表として関東ブロックに推薦することが決定しました。

部員研修会では、真鶴町に移住し飲食店を経営しているタレントのデビット伊東氏が、自らの仕事、地域活性化に対して話し、参加した部員から多くの質問があり、活発な意見交換が行われました。

〈第34回主張大会〉
優勝 武田 匡央さん(綾瀬市)
準優勝 荻野 貴文さん(伊勢原市)
第3位 ポーク由梨花さん(座間市)
特別賞 香坂 政博さん(二宮町)

創業・革新チャレンジアワード 59

「Tetsu Konabe」



(株)ナウ産業 代表取締役 今寿義氏

昭和46年創業以来「環境をアシストする金属加工」をスローガンに綾瀬市の工業団地内で金属加工業を行っている株式会社ナウ産業。豊富な設備と、経験豊かな職人が作り出す製品は、金型製作から製品完成までの全行程を自社で行っているため、受注生産品も短期間での納品が可能

「Tetsu Konabe」の開発

顧客ニーズに合わせて作る製品の中でも、代表となるのがパレット用脚皿(パレット用脚皿とは、パレット

ゴールド賞を受賞

トを段積みするときにパレット同士がズレないようにハマる部品でパレット製作には必ず必要な部品です。「脚皿を裏返して皿にならないか」という発想から生まれたのが、あやせものづくり研究会ブランドの一つでもある「Tetsuシリーズ」です。商品化するまでに3年間を要したこの製品は、鉄は錆びるといふ常識を覆す鉄鍋です。鉄鍋は使用前の空焚きや保管の為に油引きなど日常の手入れが必要とされるものが多い中、その空焚きや油引きが不要で洗剤で洗う事もできます。その理由は、フライパンの表面をチツカ黒染



Tetsuシリーズ

株式会社ナウ産業(綾瀬市商工会)



今社長と登玉経営指導員

め処理することにより得られた鉄の7倍もの強度です。これは、衝撃や摩擦・摩擦にも強く、金属のフライ返しなどを使用して傷つきの心配がいりません。そして鉄鍋は、使用により現代人に不足しがちな鉄分を自然に補う事ができるメリットがあります。

商工会の支援

あやせものづくり研究会として、テストマーケティングや一般消費者との接触の場、企業・商品の周知の場を探していたところ、担当であった登玉経営指導員から全国商工会連合会主催の「ニッポン全国商展」への出展の提案があり、出展する運びとなりました。また、同時期に地域の資源・技術の活用、商工会の協力のもとに開発された特産品の普

株式会社 ナウ産業

〒252-1108 綾瀬市深谷上8-13-5
TEL 0467-78-4155
FAX 0467-78-4156
HP <https://nawsangyo.co.jp/>



建設業フェア



昨年の建設業フェア（イオンモール座間）

座間市商工会

内容 木工製作体験（予定）及び
び耐震リフォーム相談

日時 令和3年9月23日（祝日）
10:00～16:00

場所 イオンモール座間
1階ノースコート催事場

交通手段 小田急小田原線 小田急
相模原駅北口より 神奈中バスの
イオンモール座間行き（直通）

連絡先 座間市商工会 建設業部会
☎04662511040

ざまりん創業塾



昨年のざまりん創業塾

内容 創業を進めるための基礎的知識、財務の基礎、収支計画立案・プレゼンテーションまで全5日間開催

日時 令和3年11月6日（土）・13日（土）・20日（土）・27日（土）・12月4日（土） 全5日間

場所 座間市役所
5階5-12、3会議室

受講料 3,000円

定員 20名（地域問わず参加可能）

申込締切 令和3年10月20日（水）

連絡先 座間市商工会
☎04662511040

綾瀬市商工会

「新たな時代のビジネスモデルとDX売り方パワーアップ講座」
～新時代のビジネスモデル再構築&DXによる売り方をワンランクアップさせる！～

日程	テーマ	カリキュラム
1日目 10/1(金)	新たな時代のビジネスモデルと事業再構築をホンキで考える！	・そろそろ次の時代を本気で考えない？ ・事業再構築のラストチャンスを見逃すな ・激動の2022年をチャンスに変えるために ・アイデアを具体化させよう！
2日目 10/8(金)	DX時代のオンラインコミュニケーションの極意を学ぶ！	・オンラインで効果的な表現方法 ・オンラインで効果を上げる表現 ・オンラインコミュニケーションの極意とは？
3日目 10/15(金)	DX時代のデジタル販促を極める！	・新時代のDX戦略とは？ ・各種SNSを使った顧客開拓戦略 ・BASEなどのネット販路開拓の具体策
4日目 10/20(水)	DX時代の天使の営業・悪魔の営業術とは？	・オンラインで営業力を高める ・チャレンジャーセールスで成約率アップ！ ・オンライン営業ロールプレイング ・全体まとめ、質疑応答

日時 18時30分～21時
全4回（@2.5時間）
オンライン

開催方式 オンライン

受講料 無料

講師 ジャイロ総合コンサルタント
綾瀬市商工会 ☎0467780606

申し込み方法 QRコードより

主催：大和商工会議所・綾瀬市商工会

地域の水産資源を活用した特産品開発支援

逗子市商工会 合同会社こつぽ

合同会社こつぽができるまで

「逗子に行ったらこれを買っていかなくちゃ」逗子市唯一の第一次産業である小坪漁港で水揚げされる水産物を活用した地域起こしを目的に2010年、地域資源特産品委員会が特産品開発を開始。「小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業補助金」を活用し、あかもくうどん

商いの達人
69

逗子市商工会 合同会社こつぽ
代表社員 座間 太一さん

ウニの養殖の始まり

ウニの養殖は、こつぽの代表社員である座間太一さんが県の水産技術センターよりウニの養殖が磯焼け対策となる指導を受け、2020年に樽でウニを育てるところからスタートしました。地域の飲食店やスーパ



ウニの養殖所

を開発。その後、特産品の品目を増やすために商品開発を継続して行いたいという意見から「逗子発プロジェクト委員会」を立ち上げたが、商工会事業では、商品開発した商品を販売し収益事業を行う事が出来ない為2017年7月に委員会のメンバーが出資者となり、商品の企画・製造・卸・販売を行える合同会社こつぽを設立（以下こつぽ）。合同会社設立から会計・総会などを逗子市商工会の三ツ井経営指導員が一連で支援しています。

などでも広く取り扱いができるよう、たくさん養殖ができる施設が必要となり、養殖所の建設を考へ持続化補助金を申請。商工会の三ツ井経営指導員の支援のもと、採択され海水をポンプで引き上げ、循環させる事ができる養殖設備が完成しました。

ムラサキウニは3月に漁師が海から3,000個ほどを採ってきて、養殖用の樽などで約3ヶ月間地元スーパのズキヤから提供された廃棄用のキャベツの外側の葉を食べて育てます。3～6月の間にキャベツを食べて育ったウニは、磯焼けで中身がスカスカだったところから産卵に向けて卵巣に栄養を蓄え、6月下旬に出荷されます。このウニは、水温25℃が3日続いてしまうと産卵してしまってもデリケートな生き物で

出荷の見極めが難しい為、これからの研究が必要だと言います。

このこつぽは、漁師、商工会副会長、漁組組合長、自然食品開発販売業者、社会福祉施設、商工会女性部、スーパ、中小企業診断士他で構成されており、商品の開発、製造、販売までの一連の流れがこの組織内で完成する組み合わせです。大きな利益を得るためではなく、地元逗子のために皆が同じ目的で共にチャレンジし進んでいく協力体制が非常に強い会社です。福祉作業所の就労支援として、同社製品である、あかもくうどん、等乾麺の掛紙を発売することなどにも取り組んでいます。

商工会の三ツ井経営指導員は、「これからも売れ筋商品を作っていかなければいけない。お土産となるアイテムを増やして、逗子に行ったらこ

関東ブロック商工会 女性部交流研修会（長野県開催）
逗子市商工会女性部員が県女連を代表して主張発表

6月24日（木）、ホテルメトロポリタン長野において、関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、延期となりましたが、各都県最大4名の参加人数制限やインターネット動画配信サービス「Uチューブ」を使ったライブ配信を行うなどの感染対策を実施しながら開催されました。

当日は、12時半に開会。主張発表大会では、各都県女性連を代表する11名が各持ち時間10分間で、「女性部

活動と地域振興・まちづくり」、「女性部活動に参加して」をテーマに主張発表が行われました。

神奈川県女性連の代表、逗子市商工会女性部のSai On Kyoko 榎原恭子さんは2番目に発表。「発見！ハッピー逗子」〜ホームペー

ジ作成で逗子の女性経営者の元気を全国の方へをタイトルに気持ちがあもった発表をされました。

今回の主張発表者は各県の女性部長が多い中、入部2年目での出場となった榎原さんでありましたが、遜色ない発表であったと講評をいただいたいました。

主張発表大会の最優秀賞は、山梨県南部町商工会女性部遠藤洋子さんの「南部町の宝物見つけた！特産品「生姜」復活！」が受賞され、10月20日（水）に大分県の別府国際コンベンションセンターで開催される全国大会に代表として主張発表されます。



キャベツを食べるウニ



ウニの殻を使用したランプ



ウニの殻の粉末を使用したぬか床

合同会社こつぽ
〒249-0008 逗子市小坪4-27-12
☎0466-873-2774
(逗子市商工会)

神奈川県信用保証協会

金融支援 創業支援 経営支援

～夢と未来に向けて～
かながわの中小企業を応援します

随時ご相談をお受けしています
企業支援部 TEL: 045(681)7174



主張発表を行った11名



発表する榎原さん（逗子市）